

誓約書

必ず内容を確認し、左の□に✓を記入してください。

東京都知事 殿

私は、東京都家庭と仕事の両立支援推進企業登録制度実施要綱第4条第2項の規定に基づく申請を行うにあたり、以下のことを誓約します。（□欄にチェックしてください。）

- 申請日の前日から起算して過去5年間に、重大な法令違反等はないことを誓約します。
- 労働関係法令を遵守していることを誓約します。
- 従業員に支払われる賃金が、就労する地域の最低賃金額（地域別、特定（産業別）最低賃金額）を上回っていることを誓約します。
- 固定残業代等の時間当たり金額が時間外労働の割増賃金に違反していないこと、また、固定残業時間を超えて残業を行った場合は、その超過分について通常的时间外労働と同様に、割増賃金が追加で支給されていることを誓約します。
- 法定労働時間を超えて従業員を勤務させる場合は、「時間外・休日労働に関する協定（36協定）」を締結し、遵守していることを誓約します。
- 申請日の前日を起点として過去1年間に労働基準法第36条第4項（原則として月45時間・年360時間）、第5項（臨時的な特別の事情があり労使が合意する場合年720時間以内）、第6項第2号（月100時間未満）及び第3号（複数月平均80時間以内）に定める限度を超える時間外・休日労働を行っている従業員がいないことを誓約します。
- 年次有給休暇取得率が30%以上であることを誓約します。
- 厚生労働大臣の指針に基づき、セクシュアルハラスメント等を防止するための措置を取っていることを誓約します。
- 加入条件に該当する従業員を雇用保険の被保険者としていることを誓約します。
- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条第1項に規定する風俗営業、同条第5項に規定する性風俗関連特殊営業、同条第13項に規定する接客業務受託営業及びこれらに類する事業を行っていないことを誓約します。

* 接待飲食店営業のほか、パチンコ、ゲームセンター等の遊技場営業を行っている事業主は申請できません。

- 代表者、役員又は使用人その他の従業員若しくは号に規定する暴力団、同条第3号に規定する暴力団員等」という。）に該当せず、かつ将来あわせて、知事が必要と認めた場合には、暴

* この誓約書における「暴力団関係者」とは、以下の者

- ・暴力団又は暴力団員が実質的に経営を支配する法人等
- ・暴力団員を雇用している者
- ・暴力団又は暴力団員を不当に利用していると認められる者
- ・暴力団の維持、運営に協力し、又は関与していると認められる者
- ・暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者

<個人事業主の場合>

- ・「企業等の所在地」の上に「個人の住所地」と記入し、個人住所を記載
- ・「企業等の所在地」：個人事務所の住所を記載
- ・「企業等の名称」：個人事務所名を記載
- ・「代表者職・氏名」：個人事務所の代表者の個人名のみを記載
- ・「印」：印を押印

- 本申請に関し提出する書類の内容は事実と相違ないこと、書類の写しはすべて原本と相違ないこと及び東京都の職員が審査に必要な事項についての確認や調査を行う際に対応することを誓約します。

書類提出日を記入してください。

令和3年7月1日

本誓約書の内容に虚偽や不正があった場合は申請を取り下げます。

所在地及び名称は登記簿どおりに記載し、代表者印を押印してください。

(企業等の所在地) 東京都千代田区飯田橋三丁目10番3号
 (企業等の名称) 株式会社〇〇〇〇
 (代表者職・氏名) 代表取締役 東京 太郎

